



津幡南中だより

津幡町立津幡南中学校

校長 永井 隆和 TEL288-7420

令和6年2月2日(金) NO.10

校訓 ☆燃えるような情熱 ☆ひたむきな純粋さ

☆たゆみない向上心



「はじまりの 始まり」

校長 永井 隆和

能登半島地震による甚大な災害被害を被ってから約1か月。大規模火災の被害を受けた「輪島朝市」の商店街の一部が、金沢市金石地区の一部で朝市を復活させるとの報道が新聞記事に掲載されていました。「マジンガーZ」「デビルマン」などで知られる漫画家の永井豪さんは、今回の地震で輪島市内にあった永井豪記念館を全消失し、館内にあった直筆原稿100点超を失ったとみられています。

永井さんは「ゼロから自分が描いた原稿が、ゼロに戻っただけ。また始めればいい。自分が元気にやっていくことが、誰かの希望になるならうれしい。」と話されています。

昨日、2月1日は3年生の私立高校入試が実施され、2年生は「立志式」、そして1年生は「働く人に学ぶ会」と学年で節目となる行事等が行われました。立志式では、矢田町長の式辞の後、堀内聡介さん、森原菜月さんから「周りの人を助ける仕事に就くために身につけたいこと」「多様性が求められる中で、成長に必要なこと」など、力強く立志の決意が主張され、頼もしさを感じながら聞きました。式典中の2年生の聴く姿勢も立派で、来年度の南中の「顔」としての自覚と、この1年間での成長を実感できました。

そのような中、美術室前の廊下には3年生の卒業制作の作品が展示されています。1月中に来校されたお客様が皆、口々に「すごいですね。」「感動しました。」と感想を述べられておりました。私はこの作品を最初に見たときに、ある曲が流れてきました。それはYOASOBIのボーカル幾田りらさんのカバー曲「いのちの名前」でした。そして、ある一人の生徒の絵に添えられた作文が曲の歌詞の内容と重なりましたので紹介します。

著作権侵害の可能性が
あるため削除しました。



「日の目を見ない」
まず絵を描き始める際
自分を振り返り
あまり良い人生を送れていないと思いました

幼少期以上に積極性もなく
言われるがままに生きているだけで
「夢」がありません(中略)

そんな状態で「自分のいる空間」
というタイトルに向き合った際
光が届かず静かで少し独特な雰囲気を持つ
海底をイメージしました(中略)

でも、いつか
いつまでも他人からの評価にこだわらず
輝けるようになりたい

義務教育を終え、人生初めての進路選択を前に不安や期待、初めて知る自分の弱さや他人をうらやむ心の幼さなどが入り混じった今の心境が個性豊かに表現されている作品ばかりでした。上記の生徒の作文からも「息をしているだけの毎日は嫌だ。」と言っているような気がしました。そして、「変わりたい」と思う気持ちや、そのきっかけを待っている未来への希望を感じました。新年度の4月を前にした今「はじまりの始まり」の時。失敗を恐れず「挑戦」です。1日1日を大切に学校生活を送りましょう。

